

ご質問・VEご提案・見積依頼 など、どのようなことでもお気軽にお問い合わせ下さい。お待ちしております。



高知丸高

特殊基礎工事

第201号

新技術情報

令和5年2月

〒781-0014 高知県高知市薊野南町12番31号
[URL] <https://www.ko-marutaka.co.jp>

TEL 088-845-1510 FAX 088-846-2641
[Email] marutaka@ceres.ocn.ne.jp



防災インフラ輸出再開 JICA中小企業・SDGsビジネス支援事

水陸両用掘削機 フィリピンの河川防災・災害復旧工事での活用を目指す

フィリピンでは、陸域で発生したプラスチックごみが不適正な処理により、河川内に堆積されたものや沿岸部や海に流出しています。このような現状で、生態系を含めた海洋環境の悪化、観光・漁業への悪影響、沿岸域居住環境の悪化等が懸念されています。また、河川・海洋に流出しているプラスチックは、数百年から数千年間にわたり分解されず蓄積し続けることから浚渫を通じて、環境対策の推進が求められています。

弊社はJICA中小企業支援事業で、5回の案件化調査を行い、**2020年JICA普及・実証・ビジネス化事業に採択**。**2022年8月、水陸両用掘削機をフィリピンに輸出しました**。2023年1月、第3回目の現地調査において、起工式を開催し、ラスピニャス川で浚渫の実証実験も執り行いました。本事業後に水陸両用掘削機のビジネス展開と普及を図り、ひいてはフィリピン国の中小河川・排水路の適正な維持管理ならびに洪水被害軽減を目指しています。

STEP1 案件化調査

2017年10月から2018年12月

フィリピン国ルソン島マニラ首都圏及びミンダナオ島ダバオ市を対象として、弊社の機材に適している河川の調査を実施。施工候補地視察・フィリピン法律規制／需要／販売ルート等の情報収集、環境調査を行いました。フィリピンサイドの公共事業道路省(DPWH)と実証サイト、現場導入機械等において協力体制の覚書を交わしました。

STEP2 普及・実証・ビジネス化事業

2018年度第2回募集にて採択、水陸両用掘削機を1台フィリピンに輸出しました。

2022年8月 第1回現地調査:

機材の輸送状況を確認、実証試験の予定地周辺の視察、実証試験現場での施工体制の確立、施工現地ラスピニャス市との施工内容の確認、機材搬入・組立場所の決定などを行いました。

2022年11月 第2回現地調査:

フィリピン国公共事業道路省(DPWH)の職員に実証試験に係わる、機材搬入／機材の組立・解体／操作研修などを行いました。

2023年1月 第3回現地調査:

起工式を開催、ラスピニャス川で試験施工を行い、今後の課題整理と計画策定も進めました。

機材組立指導



機材組立指導



大量製作開始 災害応急対策『ピン接続SqC 長尺橋梁工法』 NETIS登録済



杭の打設箇所が限定され、橋脚設置のために、支間長を伸ばす必要性が生じるような現場があります。この場合、必然的に現場継手を要する主桁が必要となります。「ピン接続SqC長尺橋梁工法」は腹板継手にピン連結を採用することによって、架設作業の単純化を可能にしました。従来工法では大量のボルトを必要としますが、当工法は、他の同様の鋼桁工法と比較した場合、施工日数の大幅な短縮、ボルト数量の大幅な削減が可能です。超大スパン支間長の栈橋構造の中でも特にシンプルで最も工期・工費・ボルトの削減につながることができます。特に緊急性を要する仮橋・構台の構造としては最適な工法です。



災害に備え、 長尺橋 大量製作開始

リース・販売共に可能です

近年、地震や台風等の大型天災、大雨、地すべりなどが世界規模で多発しています。生活インフラとしての橋の崩落等への対応として、仮橋や仮構台が必要とされています。また、老朽化した橋梁の架け替え工事や高速道路建設の工事などにおいても用いられており、必要量も大きく増加しています。**常に長尺橋を大量製作・保有しており、災害時に即対応できるよう、体制を整えています。**



配信停止・変更・問い合わせはmarutaka@ceres.ocn.ne.jpまで連絡お願い申し上げます。